

第66回 福井県勤労者美術展

会期＝2016年9月8日(木)～9月11日(日)

会場＝福井県立美術館

第1展示室、第3展示室

絵 画
書 道
写 真

主 催

(公財)福井県労働者福祉基金協会
福 井 県

福 井 県 労 働 者 福 祉 協 議 会

後 援

厚 生 労 働 省
福 井 県 町 村 会
北 陸 労 働 金 庫
福 井 県 民 生 協
福 井 県 労 働 福 祉 会 館
ろうきん友の会福井県中央会
N H K 福 井 放 送 局

福 井 県 市 長 会
日本労働組合総連合会福井県連合会
全 労 済 福 井 県 本 部
福 井 県 労 働 者 信 用 基 金 協 会
福 井 県 勤 労 者 旅 行 セ ン タ ー
福 井 新 聞 社
F B C 福 井 放 送

絵画の部

多田俊信	牡丹	(鯖江市)	山田正二	春を待つ	(坂井市)
佐々木幸健		(福井市)	鈴木隆光	光明寺春景	(永平寺町)
小林宏衣	蓮	(福井市)	渡邊一郎	春の朝霧高原(河口湖)	(福井市)
加藤正代	香	(鯖江市)	鈴木登紀子	牡丹の花	(坂井市)
澤崎和子	鯉	(福井市)	田中瑞月	女形谷の春	(坂井市)
塩田達雄	窓際ノ静物	(福井市)	清水秀紀	祈りの道再興	(越前町)
石川隆美	過疎の夜明け	(福井市)	向川信翠	深秋の清流	(坂井市)
川野博美	侵入	(坂井市)	西木隆晃	夕暮の漁村	(あわら市)
廣瀬嘉信	気比の松原	(鯖江市)	宇野美喜晃	廃屋	(坂井市)
吉田郁子	旅の想い出	(福井市)	幸川武志	華巖の滝	(坂井市)
田中宗岳	侵蝕	(永平寺町)	明石政一	越前・若狭の海の幸	(福井市)
下出若菜	心の平穏	(福井市)	木村幸子	涼	(あわら市)
高村ふさ子	山門	(福井市)	神田蓉子	夏姿	(福井市)
吉村キミ子	雪解	(福井市)	黒川俊彦	夢	(福井市)
高村都紀子	参道	(福井市)	竹内謙二	マイアクアの塔	(坂井市)
築田美那	銚子	(福井市)	橋本高子	グラジオラス	(坂井市)
高橋花枝	棚田	(福井市)	黒田不二夫	ある家族の肖像	(福井市)
富永慶晃	老いる	(福井市)			
杉田雅輝	中山道	(福井市)	招待作品		
鈴木正良	瀑声	(福井市)	梅村尚孝	Flower Hour	(越前市)
米岡春幸	大本山永平寺	(福井市)			
松島幸二	水没村	(福井市)			
吉岡芳夫	歌姫	(福井市)			
笠川栄子	見付島	(坂井市)			
青木慶太	もうすぐ春が来る	(福井市)			
内藤美江	白いあじさい	(福井市)			

書道の部

- | | | | | |
|-------|-----------|--------------|-------|-------------------|
| 小澤明花 | 王安石 | 詩(鯖江市) | 高間静恵 | 今を生きる(福井市) |
| 豊村桃崖 | 黄 | 花(福井市) | 小林美智代 | 展覧による(福井市) |
| 山本辰子 | 張養浩 | 詩(福井市) | 林伽奈栄 | K I Z U N A (福井市) |
| 竹内香雪 | 張養浩 | 詩(坂井市) | 宇佐美千春 | 大きな心で楽しむ(勝山市) |
| 吉村佳鵬 | 張養浩 | 詩(福井市) | 門嶋大地 | 陽(福井市) |
| 齊藤妃蘭莉 | 古泉千樑 | うた(福井市) | 柳生豊子 | 清(坂井市) |
| 西川芹楓 | 唐 | 詩(鯖江市) | 石川桂翠 | 望武夷山作(漢詩)(坂井市) |
| 加藤奈美 | 耿滄 | 詩(福井市) | 水野碧葉 | 竹内勝太郎のうた(坂井市) |
| 小林由佳 | 李白 | 詩(福井市) | 鶴崎香翠 | 竹内勝太郎の詩(あわら市) |
| 青木瑠里 | 唐 | 詩(福井市) | 石田桜仙 | 高青邱の詩(若狭町) |
| 山本玲峰 | 唐 | 詩(送友人)(あわら市) | 三木樹好 | 萩原朔太郎の詩(若狭町) |
| 佐藤玲信 | 寒山 | 詩(坂井市) | 橋詰藤華 | 早春風景 佐藤春夫の詩(若狭町) |
| 高間玲幸 | 消暑 | (福井市) | 井上幹仙 | 杜甫の詩(若狭町) |
| 小坂玲春 | 山中の流泉 | (あわら市) | 山口仁美 | 木下空太郎の詩(敦賀市) |
| 山下紫仙 | 漢 | 詩(あわら市) | 中野啓子 | 良寛詩(敦賀市) |
| 林玲山 | 孟浩然 | 詩(坂井市) | | |
| 平田玲憲 | 漢 | 詩(坂井市) | | |
| 真垣知加子 | 漢 | 詩(あわら市) | | |
| 初岡玲朋 | 漢 | 詩(あわら市) | | |
| 出口出遊民 | 平友文 | (坂井市) | | |
| 寺本行雄 | 衛を友とす | (勝山市) | | |
| 前阪悦子 | 廣いところで | (福井市) | | |
| 富永初恵 | 富さかんなるを見る | (福井市) | | |
| 尾崎和子 | 故郷たのし | (大野市) | | |
| 坪田幸子 | 跳ぶ! 跳ぶ! | (福井市) | | |
| 畑岡久子 | 亘亘による | (福井市) | | |

招待作品

齋藤寧苑 査慎行詩(鯖江市)

写真の部

小林 法性	一刃入魂 (坂井市)	吉田 勝義	愛慕 (福井市)
野田 郁代	出会い (福井市)	木下 一里	山の秋 (坂井市)
岡崎 彦左エ門	水面の彩り (福井市)	福嶋 まつゑ	近江けんか祭り (鯖江市)
三田村 久美子	シュール (鯖江市)	伊部 敏雄	静穏 (鯖江市)
田辺 耕士郎	奥越の春 (福井市)	土田 紀之	光の戯れ (越前市)
安藤 桂子	クリスタルな光景 (鯖江市)	土田 加代子	セリ場の準備 (越前市)
塚田 玲子	三次元 トンネル (鯖江市)	西田 宏	影 (小浜市)
高橋 豊子	明日に向かって (鯖江市)	木村 多恵子	A M I (敦賀市)
岩本 典子	雨上がりの蓮つぼみ (福井市)	田嶋 豊年	「立つ」 (敦賀市)
岡田 栄一	踊らにゃ損そん (越前市)	藤田 均	森羅万象 (美浜町)
濱 悦子	モノクロの造形 (福井市)	阿部 督夫	みなさん べっぴんさん (敦賀市)
田中和 昭	霞む来島大橋 (福井市)	谷 和子	春の宵 (敦賀市)
青山 重隆	未来街道 (鯖江市)	宇野 隆	情熱の舞台 (敦賀市)
宇野 洋子	晴々と (越前市)	石亀 嶽	いとこの子 (敦賀市)
増田 源十郎	え… 捕れれ… (鯖江市)	西村 清七	秋色と梵鐘 (敦賀市)
竹内 常子	たそがれ (鯖江市)	片岡 修一	春よ来い (越前市)
三上 恵美子	微笑み (福井市)	天谷 孝義	小さい森の芽生え (鯖江市)
鷲田 則子	朝霧の中で (越前町)	西本 眞一郎	龍への化身 (福井市)
前田 由加里	氷紋 (福井市)	鈴木 薫己	俺は俺 (越前町)
前田 繁雄	残照 (福井市)	水島 政雄	降臨 (越前町)
法性 昭壽	泣き相撲 (永平寺町)	小谷 三和子	明日に架ける橋 (鯖江市)
丹羽 恭一	今宵静かに更けゆく (福井市)	加藤 榮一	サンシャイン オブ マインド (鯖江市)
深山 高雄	樹氷の輝き (福井市)	橋谷 正吉良	無常 (鯖江市)
前田 正勝	里山の春景 (福井市)	辻 幸子	転生 (鯖江市)
河村 清一	未明のハス刈取 (福井市)	牧田 光治	夏物語 (福井市)
高木 貞治	新緑の頃 (福井市)	中田 和代	棚田の夜明け (福井市)

江 守 伸 二 境 目 (福井市)
室 田 昇 休 漁 日 (鯖江市)
萩 原 利 子 水 中 花 (越前市)
山 川 芳 子 花 桃 の 里 (越前市)
常 岡 美代子 路地裏の賑わい (福井市)
筏 春 次 ふ る さ と (越前市)
中 村 継 夫 雪 の 大 晦 日 (永平寺町)
宮 崎 照 男 真夏の午さがり (越前市)
市 村 宣 和 街 の 灯 り (福井市)
大 坂 憲 男 花 火 は 火 花 (坂井市)
小 谷 貴 執 寄 り 添 う (福井市)

招待作品

高 原 明 美 小 さ な 冒 険 者 (福井市)

●講評

【絵画の部】

出品点数は68点(うち招待作品1点)。昨年より10点減少しました。作品は油彩・アクリル画・日本画・水墨画・水彩画・版画等様々な表現材料や技法で、写実に止まらず、抽象性をもったものや、心像を内在させたものまで個性豊かに表現されていました。これからも自分の感性を大切にしていって、自分を表出してください。

●厚生労働大臣賞 「乱舞」 長谷 俊雄

作品の完成度をはかる密度の濃さと緊張感の高さ、そして統一された色彩感からの美しさなど、それらのどれを取っても「海に花咲く」(福井県知事賞)と最後の最後まで決戦を展開、紙一重の差で最高賞に輝いた。

「乱舞」は作者の心象風景を具現したものと思われる。あるいは蝶が乱舞する光景を実見されているのかも知れない。見つめていると不思議な気分と高揚につつまれる。

●福井県知事賞 「海に花咲く」 松井 優子

6色の数少ない色で広がり表現してある大作です。渦の中心を画面の中心から少し右上に配置してあるのが、効果的で外への動きが感じます。赤と薄緑の配色が美しいです。

●福井県労働者福祉基金協会理事長賞 「庭の片隅で」 伊藤 日登美

淡いベージュの背景に咲く花をスケッチ。淡彩ながら、確かなデッサン力と、色彩の妙を感じさせるさわやかな作品である。

●福井県労働者福祉協議会会長賞 「静逸」 上杉 嘉豊

櫛の木だろうか。静まりかえった林の中で雪解けの水音が聞こえてくるような境地です。遠近感の表現も巧みで構図もよく淡緑色の色彩が実に美しい。

(評 勝田 輝雄)

【書道の部】

今年は毎日書道展・県美展等、出品者がおおいそがしの状況で、例年より少し出品数が減りましたが、それだけに力強さ、意気込みの感じられる作品が多く見られました。県立美術館も開館40周年を迎えられるとの事で、美術館を使って、我らの「第66回福井県勤労者美術展」も大いに夢をもち、夢をふくらませ、若い方々の出品も期待したいと思います。来年もガンバリましょう。

●厚生労働大臣賞 「極－KIWAMI」 中川 和也

超高齢化の日本にあって、書にいそしんでおられる方々、又、本展に出品されておられる方々の平均も56才になろうかと思われまます。20才台の出品者は10名、この若い力を是非、書の道への 極－KIWAMI 持って行っていただきたいと願っていた時、眼の前に、圧倒的な力強さが湧き出ずる作品に出会った。この黒々とした墨の槐とトビチッタシブキ、波調を美しくまとめている。創作する時の「苦」が見えるが、もっと楽しく、たのしく！！

●福井県知事賞 「竹内勝太郎の詩 空の雲雀」 吉田 碧秋

畑や山や風、髪、の文字が大胆な筆致で力強く表現されている。公募展ではやはり、力強さ、インパクトが、審査員の眼に叶うこととなり、手が拳がる。時代の風潮が、スマートフォンを手に持つ時流となってきた。オリンピックを眼の前にして、日本は“力強さ”を持たないといけない。調和体表現の力強さの見事である。

●福井県労働者福祉基金協会理事長賞 「李白詩『塞下曲』」 松井 友子

紙面を明るくする工夫が絶妙です。潤濁、文字の大小などを配し、気力を溢れているの快作です。余りアセらないで、呼吸の長い線妙をプラスされると、もっと表現に巾が出て快快作になる様相を感じました。

●福井県労働者福祉協議会会長賞 「漢詩」 高嶋 九華

長い紙面に向かう時の、呼吸の使い方の御手本のようだ。線の緩急、速度が調律されていることで、手準な想いを感じさせている。もう少し、中心の上下に厚さ、深さが加味されるともっと迫力が感じられる作品になると感じた。

(評 吉川 壽一)

【写真の部】

総数では昨年より3点少なかったが、会期が大幅に前倒しされたことを考慮すれば昨年と同等と思える。作品のサイズは全体に大きくなり、プリントの仕上げも良くなっている。

内容的には風景が主流ではあるが、その中では撮影時刻を吟味した作品が目をつけた。この他にも伝統行事を撮影したものや、現代的な光景を切り取った作品もあり、内容的に多岐に亘っている。デジタル技術の進歩に伴い技法的に優れたものもあるが、作者の感性を感じさせる作品が多くなることを望みます。

●厚生労働大臣賞 「一な光景」 青山 嘉子

梅花藻をメインのモチーフに取上げているが、百日紅の映込みや紫色に花などをしっとりとした色調でまとめている。

プリントも主題の梅花藻にしっかりと来ていて構図も申し分なく作者の優れた感性を感じさせる作品である。

●福井県知事賞 「祈り」 須川 建美

田の神祭りのひとこまを捉えた作品で、祭神に手を合わせる老婆を見守る少年の目線が優しい。背景の御幣を持った子供たちも画面を引締めている。

おもしろくは背景の山を切りつめ老婆の足元をもう少し見せて欲しかった。

●福井県労働者福祉基金協会理事長賞 「ショーウィンドーは春の装い」 佐々木 典哉

春の宵の街角を現代的な感覚で捉えた作品で、ショーウィンドーには軽やかなファッションの女性、赤色系のショーウィンドーの外側に展開される黒い人影が画面を引締める。

右上にある信号から伸びる点線が画面に動きを持たせた格調の高い作品である。

●福井県労働者福祉協議会会長賞 「花筵～春を見守るお地蔵様～」 赤松 康子

まず一面の桜の花びらに目が行く。その中に赤い毛糸の帽子のお地蔵様。そして手前に紅色のイカリソウが咲いている。

色彩的に優れている中にとことなく春を惜しむ気配を感じさせる作品である。

(評 吉田 俊雄)